

佐川急便をかたる不審な ショートメッセージに注意

名寄市 消費生活センター通信

問い合わせ 消費生活センター ☎01654③3575



スマホに「お客さま宛にお荷物のお届けにあがりましたが、不在のため持ち帰りました。下記よりご確認ください」とのURL付きのショートメッセージが届いた、不審だ。(50代女性)



◆不在通知をショートメッセージで送られません

宅配業者は、スマホや携帯電話に「不在通知」などの内容で宅配受取者本人にショートメッセージを送ることはありません。

◆添付のURLはクリックしない

添付のURLをクリックすると、偽サイトに接続され、荷物追跡サービスのアプリの登録を誘導してきます。このアプリをインストールすると、個人情報を抜き取られたり、大量のメッセージや電話がかかってくるので、安易にクリックしないでください。

◆心配なときは宅配業者に直接電話で確認しましょう



困ったときは消費生活センターに相談ください。

災害と男女共同参画



西日本を中心とした豪雨災害では多くの方たちが避難生活を余儀なくされました。名寄市でもかつて、平成26年8月の記録的な大雨により、床上・床下浸水の被害が多数発生し、避難所が開設されました。今や自然災害による「緊急事態」は他人事では済まされず、日頃から対処の在り方を個々に認識する必要があります。

今回は男女共同参画の視点からみんなが安心できる避難所運営について考えてみましょう。

1 避難所の責任者には、 男女両方を配置しましょう

避難所の開設・運営においては、男女のニーズの違いや子育て家庭等のニーズに配慮することが必要です。女性、子ども、若者、高齢者、障がい者等の多様な方たちの意見を踏まえた避難所運営を行うため、管理責任者や自治的な運営組織の役員には男女両方を配置しましょう。また女性が少なくとも3割以上は参画することを目標とします。

現代は单身者も増加しライフスタイルも多様化していますが、日頃から育んでいる町内会活動など地域ネットワークは災害時の声かけなどに大いに役に立ちます。普段から男性も女性も地域の活動に参加しましょう。

2 みんなで共同して活動しましょう

性別や年齢などにより、役割を固定化することがないようにしましょう。特に炊事や清掃など、日常の家庭での家事分担を災害時にも適用すると、普段以上に女性に役割が集中しがちです。性別や年齢にとらわれない役割分担やローテーションを行い、みんなで共同して避難所の活動を行うことが重要です。

3 安全・安心な居住空間をつくりましょう

避難所では、たくさんの方が狭い空間で共同生活を行うこととなります。避難者のプライバシー、女性の安全・安心を守るための工夫を行うことで、誰にとっても安全で安心できる居住空間をつくることができます。



問い合わせ

企画課

男女共同参画担当 (名寄庁舎3階)

☎01654③2111 (内線3309)

✉ny-mwkyodo@city.nayoro.lg.jp